

本庄市のまちづくりとSDGs

SDGs(エスディーゼーズ【Sustainable Development Goals】)は、日本語では「持続可能な開発目標」という意味で、2015年に国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際社会共通の目標です。
本庄市では、このSDGsの考え方と本市が目指す将来像「あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄 ～世のため、後のため～」は同様の方向性であると考え、誰一人取り残さない持続可能な「後のため」のまちづくりに向け、SDGs達成に向けた取り組みを推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは?

貧困、教育、福祉、人権、経済、資源、エネルギーなど様々な分野の17のゴールと169のターゲットから構成され、これらを統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目指しています。

地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念とし、先進国も開発途上国もすべての国で取り組むべき目標とされています。

2030年までの解決を目指し、政府だけでなく企業や地方自治体、学術の世界や市民社会など一人ひとりの行動が求められています。



SDGs達成に向けた取り組み

塙保己一の「世のため、後のため」の精神を受け継ぐ本庄市

市の行政経営の指針となる本庄市総合振興計画後期基本計画に各施策とSDGsの関連性を示し、SDGsの推進を図っています。

本庄市 ゼロカーボンシティ宣言



本庄市は、緑豊かで自然に恵まれた環境にやさしいまちを次世代に引き継ぐため、SDGsの達成を今後の大きな課題としています。郷土の偉人である塙保己一の「世のため、後のため」の精神を引き継ぎ、持続可能なまちづくりをさらに推進するため、令和3年5月に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に挑戦することを宣言しました。

電気自動車を活用した SDGs連携協定



電気自動車を活用した普及啓発を進めるとともに、災害・停電時における市内の公助力の向上も図ります。



パートナーシップ宣誓制度の 自治体間連携に関する協定



人権を尊重し、性別や国籍などに関係なくいきいきと暮らせるまちを目指して、4自治体で連携して取り組んでいます。

